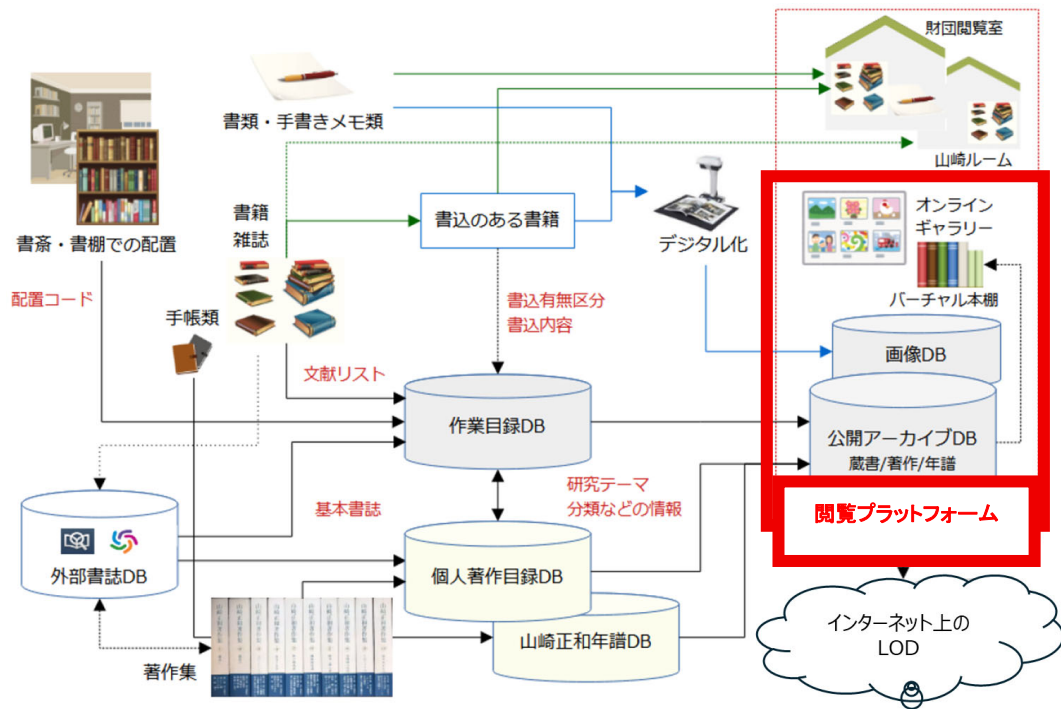


別紙①

〈山崎正和アーカイブ全体像〉



別紙②

〈山崎正和アーカイブ閲覧プラットフォーム第二期の特長〉

■任意の語による検索性の向上

第二期山崎正和アーカイブでは、手稿資料を中心に冒頭200～300字を文字起こしし、ノート類など見出しに相当するテキストもメタデータ化しました。また、創作メモなど著者によるタイトルがない資料には、本文をもとにタイトルを付与し、著者タイトルと区別するため括弧で囲んで表示しています。

■出現語の共起関係視覚化とキーワード付与

出現頻度の高い語の関連性を統計解析し、二次元マップとして表示します。語の配置から資料群の特徴を把握でき、各語をクリックして該当資料を検索できます。さらに、「劇」「芝居」「戯曲」など近い概念の語を、AIを活用してキーワードにまとめました。

これにより語のばらつきによる検索漏れを防ぎ、日本語以外の資料も一括して検索できます。

■資料の配置情報の保存と階層検索

資料が保管されていた部屋・書棚・フォルダ・封筒などの情報をメタデータとして記録しました。上位の関係を個別資料から辿れるだけでなく、部屋別・棚別などの階層から資料を検索できます。

■デジタル化画像ビューアの目次機能

デジタル化画像は、国際標準のIIIFに準拠したビューアで閲覧できます。ページ数の多いノート類などには目次機能を加え、必要な箇所へ直接アクセスできるようにしました。